

SDGs

サステナブル デベロップメント ガールズ

地域や企業と協働した多様な社会活動を
生徒自身が自主的に展開



賢明女子学院中学校高等学校



SDGsの達成を目標に
有志のメンバーが
自主的に
社会活動アクションを
企画立案

現在の所属生徒数
中学生 16名
高校生 41名



Be Leaders

2023年度の主な活動

校内での主な活動

校内新聞

ベルマーク

服のチカラ

フードバンク

協働団体

姫路市/兵庫県

姫路青年会議所JC

企業/ NPO

海のごみ調査隊 再開！

私たちの活動の特徴

imagine

想像する

connect

つながる



活動の特徴 1

私たちの活動は
想像すること
によって深まる



imagine

想像する

もしも・・・？

想像のチカラで世界の問題を自分ごとにする



もしも自分が
難民に
なったら

もしも自分が
毎日の
食事に
困ったら

もしも海が
ごみで
いっぱい
になったら

もしも友人が
ジェンダーに
悩んだら

届けよう、服のチカラ プロジェクト **難民の生活を想像する**



8月25日に**UNHCR**協会講師と学生団体SOARによる難民についての講演、**ワークショップ**を開催した。参加者たちは活発に意見を交わしながら、**難民となることがどのような状況であるのかを想像することで**、問題を**自分事として**捉えようとした。この気づきは、この後の活動への意気込みにつながった。

届けよう、服のチカラ プロジェクト いろいろな人とつながる



白國神社



姫路周辺の公立小学校



三井住友信託銀行姫路支店

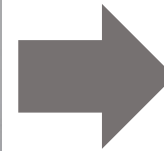
- 6月 ユニクロピオレ姫路支店による出張授業
- 7月 第1回～2回ミーティング 活動方針決定
- 8月 UNHCR協会による出張授業
協力先への手紙、ポスター、活動のフローチャート作成
- 9月 学内外で服の回収を開始
学院祭で服の回収とフードドライブを同時開催
- 10月～11月 学内で服の仕分け作業、発送
- 12月 感謝状の作成
- 1月 回収した服の中で対象外となった小物、大人服などを仕分けし、他の支援先への提供を検討している



NPOフードバンクはりまとの出会いと支援



2022年4月講演会をきっかけに



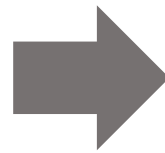
食に苦しむ人たちのことを
想像し、自分たちにできる
ことを考えた



NPOフードバンクはりまとの出会いと支援



ボランティアに参加して実施方法を学んだ



生徒や保護者に呼びかけて校内フードドライブを実施

先輩から後輩へと受け継がれ、活動を継続中



2022年度、2023年度には
年間4回の校内フードドライブ実施

私たちの活動の特徴 2

connect

つながる

他の人とつながることによって世界が広がり
より広く深い活動が可能になる

フードバンクはりま 5周年記念イベント

日時 7.15 SAT - 16 SUN 9:00-16:00

場所 姫路市二階町18コワーキングスペースSHARES 1F・2F

後援：姫路市
協力：真明女子学院

活動資金と食品集めのためご協力お願いします！

イベント内容



1F フードドライブ

ご家庭で余っている食べ物やお分けできる食品の寄付にご協力ください。食べることに関心がある家庭に届けます。

当日ご持参していただき、スタッフにお渡しください。



1F チャリティカフェ

ドリンク類やスイーツを販売します。利益は全額フードバンクはりまへの寄付となります。

18日限定
ハンバーガーランチありです！

Instagram公式アカウント
dou_mando (ドゥーマンダ)



2F チャリティフリマ

ご持参いただいた物品を販売します。売上金は全額フードバンクはりまへの寄付となります。

前日までにフードバンクはりま
又はSHARESにご持参ください。

※SHARESにて参加費にご負担ください。
TEL: 085-4844-8219 くらあつまで

私たちの活動

活動の様子



もったいないのあ・り・が・と・うへ

ボランティアにご参加くださる方募集しています！

私たちはまだ食べられるのに様々な理由で廃棄として扱えない食品を引取り、食料を必要とする人たちに提供し、「食ロス」と「空腹の人」救済を目的とした活動を行っています。

イベントの企画・実施に参加



HARIMA



NPO法人
フードバンクはりま

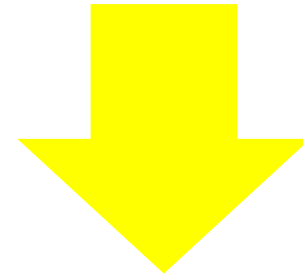
〒671-0215 兵庫県姫路市東町2503
TEL: 079-227-8304 / FAX: 079-228-2581
mail: info@foodbankharima.org

フードバンクはりま公式サイト
https://www.foodbankharima.org
フードバンクはりま





チャリティーカフェで提供する
クッキー作りに悩んだ時



2022年度のひめじ創生SDGsアワードで発表されていた
みかしほ学園製菓専門学校さん
を思い出した！

協力を願い、一緒に作ってくださることに決定！



クッキーの
デザインや形を
打ち合わせして
決定

専門学校に教わりながらのクッキー作り



価格設定やメニューも自分たちで考えた！



イベント当日は他団体のボランティアの方々と協力



カフェとフリマのイベントを通して支援の和が広がった



そのつながりは校内外で実現している

奉仕委員会が
子ども食堂での
ボランティアを開始
現在も
多くの生徒が参加





子供食堂の魅力

ボランティアとして楽しい

普段関われない人と関われる



子供達の手になれる

子供達から力をもらえる

姫路市主催のイベントに参加

地元企業と中高生が課題について話し合う



ひょうごSDGs HUBに登録

兵庫県
主催

SDGs先進国デンマークに学ぶ、
幸せで充実した暮らし 

～Well-being兵庫の実現に向けて～

2024.01.21 [SUN] 13:30～ / 場所：起業プラザひょうご



大学生やデンマーク人とディスカッション

賢明女子学院高等学

360° マーブル島化計画



姫路青年会議所主催
坊勢島のブランディングを提案

ベルマーク

地道な努力で収集し
地域の子供たちへ還元



児童養護施設広畑学園
にテントを寄付

小学校 出張授業

地元小学校でSDGsについての出前授業を実施

2022年度の実施校
すべて姫路市内の公立小

妻鹿小学校 荒川小学校

別所小学校 城乾小学校

野里小学校 東小学校

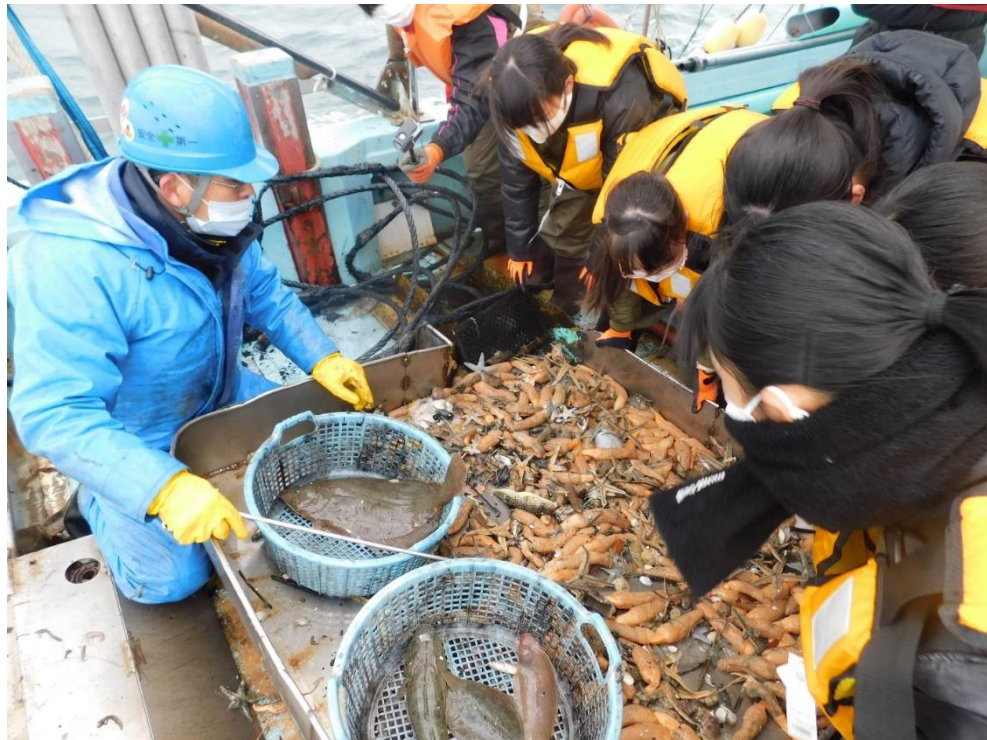


海のゴミ 調査隊

(株) 姫路環境開発のご協力で 播磨灘の海底で地引網漁を実施



Go Blueごみアートコンテスト2022 優秀賞！



情報を発信し、共有

校内新聞



生徒が

企画取材記事

にまとめる

「海ごみ」環境学習 in いえしま Be Leaders 9名参加

台風の影響で増えた漂着ゴミ。意外なごみも。十月一日、兵庫県主催の「海のごみ環境学習日 いえしま」が行われ、私たち「Be Leaders」も参加した。秋晴れの中、参加者10人の内、賢明からは中学生、高校生合わせて5名が参加した。砂浜のごみ拾い、カヤック体験、砂浜の砂からマイクロプラスチックを採取するという実践を行った。



たごみが河川を流れてやがて海にたどり着くことわからず、香川県によると香川県内海では年間1,000kgものごみが流れて着き、そのうち、アサヒがラフアンティアなどに回収されるが、空は海底に沈んでたまり、砂浜は瀬戸内海の外の海へ流れ出す。外の海へ流れ出したごみは、日本の海だけでなく、ワイノなど海外へ流れ着くものもある。海底にも沈み、私達が直接目に見えないところも汚れているというのだ。

カヤック体験では一人一艇に乗り、自力で櫂を操りながら目的地まで約30分かけて進んだ。思った以上に力が必要で思い通りに進まなかったが、海の上で風があまりとても気持ち良かった。まるでハンモックに寝転んでいるような気分だった。海面にごみはなく景色も良かった。

いえしま自然体験センターに戻り、4班に分かれて砂浜の砂からマイクロプラスチック採取を行った。マイクロプラスチックとは直径ミリメートル以下の小さなプラスチックの破片など小さいものから大きな漁具、2リットル以上入るであろう容器など大きいものまで様々であった。おもしろいものではゴルフボールなどがあった。そしてもちろん大量のペットボトル。スタッフの方も合め約8人がかりで5分程掃除した。外観は綺麗になったが、まだまだごみは落ちていて、今回の清掃だけでは取りきれなかった。あと二、三回はいく必要があるだろう。

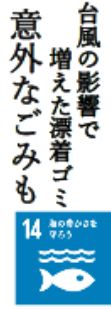


カヤック体験では一人一艇に乗り、自力で櫂を操りながら目的地まで約30分かけて進んだ。思った以上に力が必要で思い通りに進まなかったが、海の上で風があまりとても気持ち良かった。まるでハンモックに寝転んでいるような気分だった。海面にごみはなく景色も良かった。

中国四国地方環境事務所調査では、瀬戸内海側に流れてくるごみは空き缶、ペットボトル、プラスチックごみが多く、瀬戸内海の海のごみの発生量は、ほとんどが国内、しかも瀬戸内地域隣の河川から流れてきたものだろう。このことから私たちが普段の生活で、街中で捨て



台風の影響でごみは（職員の方の）下流の時よりかなり増加。大型ごみも。



14 海の豊かさを守ろう

賢明人語

「秋といえは」なんだらうか。物魚、栗、梨、さつまいも、「秋といえは」食欲の秋である。夏バテし食欲低減していた人も、もうでない人も秋の食欲は食欲をそそられるのではないのだろうか。▼そんな秋であるがそれ以外も台風がよく来る季節だとイメージする人もいるだろう。食欲の秋と台風が来る秋深いところで関係している。▼例えば秋は秋魚、地球温暖化によって秋魚の回遊ルートが変わり、不漁の状態が続いている。台風は近年、地球温暖化の影響で大型化し、被害が拡大している。▼どちらか地球温暖化が大きい関係しているのだ。▼地球温暖化は地球全体世界気温が高くなっている現象であるため、影響するのは日本人に留まらずこの世界に住んでいる人々、農業、漁業にそして鳥(土地)の存在までも被害が及んでいる。南極の水が地球温暖化によって溶けてしまい、海水面上昇し面積の小さい島が海に呑み込まれてしまった例があるのだ。日本も島国であるため安易に聞き捨てならない。▼このように地球温暖化は規模が大きいため全ての対策をするには多くの時間が必要になる。また、もともと農業は天候に左右されやすい。このまま長い年月、地球温暖化の影響を受け続けてしまうと、2050年後の秋の味覚はまた違ったものに変わってしまうかもしれない。▼それとも、科学技術が進歩して今の秋の気候を維持できるような施設の中で食料を栽培することができるとも、世界中が来るのだろうか。▼心配しつつも、今年も秋の味覚への期待が膨らんでいる。(全原明彦)

学校全体にみられる創造的な社会活動

- 生徒会の活性化
- 探究学習の成果
- ボランティアの広がり



外部からの評価

<https://www.vspirit.jp/>



ボランティア・スピリット・アワード

2023年度 コミュニティ賞



ひょうごSDGsスクールアワード2023 高等学校の部 最優秀賞

サステナブル

- 自分たちができる範囲の活動が
- 先輩から後輩へ受け継がれ
- 年間を通して
- 継続して行っている
- 持続可能な活動である



デベロップメント

- 社会に対する関心を持つことによって
- 様々な出会いがあり
- 学びを通して
- 何が必要かを想像する
- 他の人と協働し
- 新しい活動を展開し
- 発展させている



Sustainable Development **Girls**



- ・女子校でジェンダーの固定概念に縛られることなく
- ・積極的な活動を展開し、ひとりひとりがリーダーとなる

これからも皆さんと協働していききたいです！

